

## 小学校の部 特選

### 一茶まつり大賞

埼玉県 久喜市立久喜東小学校 四年 優汰さん

## バンザイと空に手を上げ立つふたば

「ふたば」は春に芽を出したばかりの二枚の新芽のことです。両手を上げて喜んでいる小さな子供のように見えました。生まれ出た喜びがあふれています。

### 東京都知事賞

埼玉県 加須市立高柳小学校 三年 千陽さん

## しゃぼん玉キスして子ども生まれたよ

しゃぼんだま遊び。二つのしゃぼん玉がくっつきました。その時、小さなしゃぼん玉が生まれました。ほほえましいしゃぼん玉の三人家族です。

### 東京都議会議長賞

秋田県 八峰町立峰浜小学校 一年 らいじさん

## さつまいもおいしくなれとつちなでる

さいつまいもの苗をみんなで植えたのでしょう。土をたっぷりかけ、最後におまじないのように土を撫でました。大きくなるのが楽しみです。

## 足立区長賞

愛知県 西尾市立鶴城小学校 四年 新さん

### 令和でも平和がいいな大はなび

平成は日本に戦争のなかった平和な三十一年間でした。新しい時代も平和が続くようにと夜空に上がる花火を見ながら願っているのです。

## 足立区教育委員会賞

埼玉県 さいたま市立沼影小学校 一年 峻久さん

### あさがおがおおあくびした6じはん

朝顔観察に庭に出ました。すると、もう大きな朝顔が開いています。あくびをしているようです。つつられて大あくびをしてしまいました。

宮城県 仙台市立荒町小学校 六年 凛介さん

### 八一五蟬やテレビも黙ってる

終戦日の正午、テレビを消し、家族全員で黙祷をしました。いつもの蟬の声も聞こえません。追悼の静けさに包まれています。

埼玉県 白岡市立白岡東小学校 二年 匠人さん

## ぬけたはをにじになげたよなつやすみ

抜けた下の歯は屋根に投げるのが元気な歯が生えるおまじない。ちょうど虹が屋根にかかっていた。そこで虹に向けて投げました。夏休みの一場面です。

東京都 墨田区立横川小学校 五年 友梨さん

## 水しぶきこわがるマスがたてている

釣り堀でしょうか。たくさんのマスが泳いでいます。近づくといっせいに尾をひるがえして逃げます。マスの気持ちが伝わってきます。

東京都 豊島区立千早小学校 五年 来夏さん

## 夏の海かみつくように来る波だ

晩夏の海は南方で発生した台風のせいで波が高くなります。その波が鋭い鮫の歯のように見えたのです。表現が生き生きとしています。

東京都 足立区立亀田小学校 二年 たきおんさん

## クマゼミの声をふらせてけやき立つ

朝早くからうるさく鳴くクマゼミ。その声をけやきが降らせていると感じました。まるで木がクマゼミを集めて、ここで鳴きなさいと命じているかのようです。

富山県 高岡市立伏木小学校 五年 一翔さん

## ばあちゃんがわらう二つ目のよもぎもち

よもぎ餅はお祖母さんの手作りでしょう。うまいうまいと言いながら二つ目を食べる姿を目を細めながら見つめているのです。

兵庫県 神戸市立義務教育学校港島学園 四年 創さん

## 夏南紀家族写真に夕日はえ

家族で夏の南紀地方を旅したのです。海岸で撮った写真でしょうか。家族全員の顔に夕日が当たっています。大切な思い出の一コマです。

山口県 下関市立滝部小学校 六年 さとりさん

## はすの実の飛んで降り出す山の雨

熟れた蓮の実が花托という実が入っているところから抜け落ちることを「蓮の実飛ぶ」と言います。山の雨を誘い出したかのように感じたのです。

愛媛県 宇和島市立立間小学校 一年 しょうやさん

## なつのくもおにいちちゃんだけおこられる

兄弟でよくけんかをするのでしょう。でも叱られるのは兄だけ。実はどっちもどっちなのです。叱られる兄と兄思いの弟を入道雲が見つめています。

鹿児島県 出水市立出水小学校 三年 大空さん

## 秋の空ぼくの名前も秋野大空

自分の名前をそのまま一句に詠み込みました。澄み切った大空を仰ぎながら良い名前を付けてもらったことに感謝しているのです。

## 中学校の部 特選

### 一茶まつり大賞

東京都 稲城市立稲城第五中学校 三年 夏奈さん

## 星空に吐く白息は明日の雪

冬の星空へ溶け込んでいく自分の白息。その息が雲の一部となって明日には雪になるという新鮮な発想が魅力です。大自然との一体感が表現されています。

### 東京都知事賞

東京都 十文字中学校 三年 えりんさん

## 陽炎や滲む景色はゲルニカか

ピカソの絵で有名なゲルニカは世界で始めて空爆を受けた所です。その町が陽炎の向かう側に幻影のように浮かんだのです。反戦の思いが伝わります。

## 東京都議会議長賞

千葉県 八千代市立勝田台中学校 三年 いくるさん

### 勉強もそうめんみたいに流れたら

流しそうめんです。次々流れてくるそうめんを食べながら、勉強もこのようにあっという間流れてほしいと思ったのです。ユーモアがあふれています。

## 立区長賞

埼玉県 川越市立福原中学校 三年 真実さん

### 夕焼のしみこみ過ぎた柔道着

柔道着を洗い干したのでしょうか。温かいのは夕焼けが沁み込み過ぎたせいと受け止めました。日頃、練習でくたくたになった柔道着への愛着がこもります。

## 足立区教育委員会賞

岩手県 大船渡市立大船渡中学校 三年 青空さん

### 暑すぎて恋の話も一休み

友達と毎日交わす恋の噂話。いつも時間も忘れるほどなどですが、さすがに今日は暑すぎました。汗だくになっている友達の笑顔も浮かびます。

福島県 会津若松市立第六中学校 三年 慎一郎さん

## ソーダ水怪談話に透けてゆく

青色のソーダ水。怪談の話の怖さに飲むのを忘れていました。気づくとソーダ水も薄まっています。たぶん、ソーダ水も怪談に耳を傾けていたのでしょう。

千葉県 八千代市立睦中学校 二年 優海さん

## シーガラス夏の夜空を映しだす

シーガラスは海岸などで見つかるガラス片。波に揉まれて美しい曇りガラスになります。かざすと中にも夜空が広がっていると気づきました。

東京都 立教池袋中学校 一年 陽祐さん

## 雪が乗る自販機で買う缶コーヒー

雪を被った自動販売機。予想以上に温かい缶コーヒーが出てきたのでしょうか。なんだか自動販売機がやさしい叔父さんのように思われたのです。

東京都 葛飾区立小松中学校 三年 妃華里さん

## 右頬にあてがう友のラムネビン

ビンをあてがってくれたのが友達なら、友達は左利きですね。思わず口にした「冷たい」の声も聞こえてきそう。二人の笑顔も見えてきます。

東京都 狛江市立狛江第二中学校 二年 素生さん

## 星野源炎昼さえもふきとばす

星野源の柔らかいが力強い、リズムカルな歌声がどこからか聞こえてきます。その声は炎昼さえも別世界にしてしまいます。

東京都 足立区立第五中学校 三年 花実さん

## 夏草やがれきの中に照る西日

東日本大震災を思い出しますが、さまざまな被災のたび瓦礫が山のようになります。西日とたくましく茂る夏草の対比が鮮烈です。

東京都 足立区立江南中学校 三年 海音さん

## 金閣とあめんぼのせる水面かな

金閣寺を映し出す鏡湖池。その映った金閣寺のそばをあめんぼが跳ねるように泳いでいきます。静と動の一瞬の出会いがとらえられています。

愛知県 愛知県立岡崎盲学校中学部 一年 彩乃さん

## 秋の風白杖右手に遠出する

爽やかな秋はどこまでも歩いて行きたいもの。秋風が遠くまで連れて行ってくれそうな気分になります。白杖とともに今日も散策の歩を伸ばします。



愛知県 幸田町立南部中学校 二年 駿祐さん

## 煌々と照る晩霜とまるいねこ

晩霜は春になってからも降りる霜のこと。農作物に被害をもたらすことがあります。その寒い光と丸くなって眠る猫。農家の一場面が切り取られています。

福岡県 照曜館中学校 三年 海翔さん

## ありたちは総理大臣より忙しい

暑い日中も休むことなく黙々働く蟻たち。総理大臣も忙しいでしょうが、それ以上に忙しそうだと表現したところがユーモラスです。